

群馬 アスベスト(石綿)被害相談会 & 中皮腫サポートキャラバン隊講演会

相談電話：0120-117-554

無料・事前申込み不要

かつて様々な建物に使われたアスベスト(石綿)。アスベストは吸い込むと長い潜伏期間を経て、中皮腫や肺がんなどの重い病気を発症するおそれがあります。今回、中皮腫の患者さん自身が同じ病気の患者さんのピアサポートを行っている「中皮腫サポートキャラバン隊」の皆さんの講演と、身近な建物に残っているアスベストの危険性と対策について石綿問題の専門家がわかりやすく講演します

①講演会 13:00~15:00
会場4階 第5会議室

◆中皮腫サポートキャラバン隊◆

栗田英司さん「腹膜中皮腫18年の闘病記」
中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 関東支部 中皮腫相談担当

右田孝雄さん「一笑懸命」
中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 関西支部/中皮腫同志の会 会長

原修子さん「二転三起」
中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 関東支部 中皮腫相談担当
中皮腫同志の会 副会長

◆石綿問題の専門家の講演◆

外山尚紀さん 東京労働安全衛生センター/石綿建材調査者
「身近に潜むアスベスト~そのリスクと対策」



左/右田孝雄さん、右/栗田英司さん



外山尚樹さん



原修子さん

②アスベスト被害相談会

10:00~16:00 会場4階 第3会議室

③アスベスト疾患の患者・家族の交流会

15:00~16:30 会場4階 第4会議室

日時：2018年4月21日(土)

会場：前橋市民文化会館 ※アクセス：JR前橋駅・南口 徒歩6分

主催 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 関東支部

連絡先 電話：03-3683-9765 (関東支部 事務局)

今回の相談会&講演会&交流会の主旨

今回、群馬県にお住まいの方を対象に、アスベスト（石綿）被害についての相談会と講演会を開催します。相談会では、専門スタッフが、アスベストに関する医療・補償・調査などについて、電話相談および会場での対面相談をお受けします。

講演会では、アスベストが原因で発症する「中皮腫」について、患者一人一人の想いや患者自身と同じ患者をサポートしている様々な取り組みを紹介します。また、専門家から、身近に潜むアスベストのリスクとその対策も紹介します。講演後には、交流会の時間を設けていますので、患者さんとそのご家族はもとより、医療従事者の方もご参加頂けます。この機会を通じて、アスベスト問題や「中皮腫」という病気への認識を深めて頂ければと思います。

アスベスト（石綿）とは？

➤ **発がん物質** アスベストは、燃えない、強い、柔らかいなどの特徴から、様々な工業製品に入れられてきました。日本では、1960年代に輸入量が急増し、1970~80年代に大量に使用されました。アスベストの発がんは、ばく露（アスベストを吸い込んでしまうこと）から数十年経って起こります。現在、建設・製造・造船・鉄鋼・自動車・鉄道・公務員・教員などの職業で働いてきた方、あるいはお住いの環境の中でばく露した方など、アスベストによる健康被害が多発しています

➤ **今も身の回りに** 輸入されたアスベストの大部分は建築材料として使用され、2004年に使用が原則禁止された後も、これらの建材は今も私たちの身の回りに大量に残されています。2017年6月、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会と報道機関の共同調査で、32都道府県の公営住宅の約8700戸、都営とURの住宅約1万3500戸で吹きつけ石綿が使われていたことが判明しました。今後も、無計画な解体工事や震災によって倒壊した建物からアスベストが飛び散り、労働者や周辺の住民がアスベストの危険にさらされる恐れがあります。

会場地図 前橋市民文化会館



中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 関東支部

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会は、2004年に、アスベスト患者への支援を目的として発足しました。日本で初めての、アスベスト疾患（中皮腫、肺がん、石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚など）の患者団体です。全国に21の支部があり、支部ごとに定期的に患者会や相談活動を実施しており、孤独になりがちな被害者やその家族が支え合う交流の場を提供しています。アスベスト被害について、全国的なネットワークを持つ、国内で唯一の患者団体です。

【お問い合わせ】

電話（フリーダイヤル）：0120-117-554
住所：〒136-0071
東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階
HP：<http://www.chuuu-hishu-family.net/>